

**森議員** それでは、私の方からは、通告していました「骨髄移植ドナー助成事業」の創設について、この1点についてお聞きします。白血病などで、骨髄バンクドナーからの移植を望んでいる方が全国には数多くいらっしゃいます。日本骨髄バンクのドナー登録者数は、令和2年10月末現在、約53万人で、そのうち徳島県内の登録者は2,494人です。骨髄移植のためには、患者とドナーの白血球の型が一致することが必要です。現在、移植を待つ患者さんの約96%に適合するドナーが見つかる状況に対して、仕事上の都合などにより移植に至らないケースがあり、実際に移植を受けられるのは、登録患者の6割程度にとどまっています。その要因としては、ドナーの健康上の問題の他、ドナー登録から提供までの必要期間は7から10日程度となっていますが、休業補償がなく、時間的拘束が多くドナーの方の負担となっているのが現状です。このような状況を踏まえ、都道府県、市町村において、骨髄バンクドナー助成事業を導入する団体が増えてきています。一人でも多くの患者さんの命を救うための有効な手段と考えます。牟岐町として、骨髄バンクドナー助成事業の導入を実施していただきたいと考えますが、町長の見解をお伺いします。

**一山議長** 枳富町長。

(枳富町長 登壇)

**枳富町長** 森議員の骨髄移植ドナー助成事業の創設についてのご質問にお答えします。日本骨髄バンクが実施する骨髄バンクへのドナー登録者数を増やすことを目的とするとともに、白血病等の血液疾患の治療に必要となる骨髄・末梢血管細胞の提供者(ドナー)の負担軽減や骨髄等を提供しやすい環境を目指して、ドナー登録者が骨髄移植を実施した場合、ドナーとドナーを雇用する事業所に対して助成金を交付する事業で、徳島県内では、現在1自治体が助成を行っています。徳島県下での移植実績としては、多い年で、9件の年もありましたが、多くは2、3件であり、1市町村当たりの必要な予算は件数が少ないため、それほど大きくはないと思われまます。ドナー登録者が実際にドナーとなって骨髄液を提供することは、かなり確率が低いことであり、町内で年間に何例も該当することはないと考えられますが、ドナーとなることにさまざまな不安があります。そ

のうちの経済的な不安を解消することで、ドナー及びドナー登録者の増加を図り、骨髄移植ができる環境を整えることは、一人でも多くの患者さんの命を救うため有効な手段と考えます。牟岐町も助成事業に取り組みたいと思います。よろしくをお願いします。

一山議長 森議員。

森議員 今、杵富町長より「骨髄移植ドナー助成事業」の創設に取り組むというご答弁をいただきました。ぜひ早急に創設の実施、また、取り組みをお願いして、私の質問を終わります。